

第44回広島県緑の少年団交流集会

開催概要

県内の緑の少年団が一堂に会し、自然に親しみながら、相互の研さん、交流と親睦を図るとともに、自律・友愛・協同・奉仕の心を養うため、令和8年8月5日（水）に、広島市青少年野外活動センター（広島市安佐北区安佐町小河内）で交流集会を開催しました。



【参加者】可部南グリーンズ緑の少年団、本郷西小緑の少年団、切串緑の少年団、吉和緑の少年団、簡賀小学校緑の少年団の5団体 団員・指導者計71名

森林環境学習

午前中は、森林環境学習として、森林インストラクターであり樹木匠でもある長井先生と林業に造詣が深い與儀先生の指導により、樹木の観察会を行いました。

各個人ばらばらに分かれ、樹木の特徴を学ぶために、それぞれ樹木に設置された問題に答える形で樹木を観察し

ました。一通り設問に対する回答を作成した後、全員で現地を回りながら、先生の説明を受けていきました。

子供たちの感想としては、「クイズ形式なので面白い」といった声があった一方で、「少し問題が難しかった」などの声もあり、次回へ向けて、改善点を把握することができました。



クラフト教室

小刀を使って竹を削り、竹でブンゴマを作る活動です。

小刀を使った創作活動を通じて、創作する楽しさや充実感、手作りの作品を完成させる達成感を味わうとともに、

友達の前で頑張る姿や作品を見ることで友達の良さを知ることが目的としています。まずは指導者の事前説明を聞いた後にそれぞれグループで制作活動を行いました。

また、穴を空ける作業では、得意な子が率先して作業をするなど、それぞれグループによって役割を決めてブンゴマを作っていました。

完成した後は、実際に動かして達成感に浸る子もいました。



農業体験

作物の収穫を中心とした農業体験を行う活動です。

作物の収穫等の農業体験を通じて、農業の喜びを味わうとともに、大変さや課題に触れ、農業に対する理解を深めることを目的としています。

当日は、ピーマン、ナス、ミニトマトの収穫を体験しました。

特に、ミニトマトは一つ一つの実が大きいく、収穫したトマトを家族で食べるという子もいて農業の喜びをぜひ家族の皆さんに伝えていただければと思います。引き続き、交流集会を通じて少年団の皆さんが自然への関心と理解が進み、自立や協同の心を養っていくことに繋がっていきたくと考えております。

